

解説 1

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 間接疑問文とは、名詞節に変換された疑問詞疑問文が、文の要素に組み込まれた文のこと。
間接的に疑問を含む文という意味で、文全体が疑問文かどうかには関係しない。
- 疑問文を名詞節（間接疑問と呼ぶ）に変換するには、疑問文の語順を平叙文の語順に直す。
- （疑問文）Where *did you see the boy*? 「あなたはどこでその少年を見たのですか。」
→ □（名詞節）where *you saw the boy* 「あなたがどこでその少年を見たか（ということ）」
- Tell me *where you saw the boy*. 「どこでその少年を見たか教えてください。」（間接疑問文）
※ where 疑問文が間接疑問となって、動詞 tell の直接目的語に組み込まれた文。
- （疑問文）When *will she come back*? 「彼女はいつ帰ってくるだろうか。」
→ □（名詞節）when *she will come back* 「彼女がいつ帰ってくるか（ということ）」
- Do you know *when she will come back*?
「彼女がいつ帰ってくるか知っていますか。」（間接疑問文）
※ when 疑問文が間接疑問となって、動詞 know の目的語に組み込まれた文。
- こうした間接疑問の名詞節をつくる語には、ほかに how や what, which, how many などの疑問詞と、接続詞の whether/if 「～かどうか」がある。なお、whether が単独で疑問文を作ることはない。
- *Whether you did it or not is not important.*
「あなたがそれをしたかどうか（ということ）は重要ではない。」
※間接疑問が主語に組み込まれた文。
- I don't care *whether/if you will do it or not.*
「あなたがそれをするつもりかどうか（ということ）は私にはどうでもいい。」
※間接疑問が動詞 care 「気にする」の目的語に組み込まれた文。
- 原則として、動詞の目的語となる節を導くとき、if は whether に代用できる。
- 疑問詞疑問文に do you think 「あなたは思いますか」などの意味を加える間接疑問文もある。
- 疑問詞の直後に do you think などを挿入し、疑問詞疑問文を平叙文の語順にする。
- （疑問文）Who is she? 「彼女は誰ですか。」 + (do you think) 「あなたは思いますか」
→ □ Who do you think *she is*? 「あなたは彼女が誰だと思いますか。」（間接疑問文）

A 演習 1：基本問題 日本語を参考に、英文を完成しなさい。

- 彼女が誰か知っていますか。
Do you know
- 彼が何歳か私は知らない。
I don't know
- ブラウン先生はお金がどのように機能するかを教えてください。（動詞 work 「機能する」）
Mr. Brown taught us
- あなたは彼女の仕事は何だと思えますか。
What

演習 1：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- who she is? ※動詞 know の目的語に、疑問文 Who is she? 「彼女は誰ですか。」を間接疑問に変換した who she is を組み込む。このとき、文の中心となる節（主節）が Do you know で始まる疑問文の形なので、文全体も疑問文となる。文末の疑問符を忘れないこと。
- how old he is. ※動詞 know の目的語に、疑問文 How old is he? 「彼は何歳ですか。」を間接疑問に変換した how old he is を組み込む。主節は平叙文なので文末は終止符（ピリオド）になる。
- how money works. ※動詞 taught (teach の過去形) の直接目的語に、疑問文 How does money work? 「お金はどのように機能しますか。」を間接疑問に変換した how money works を組み込む。
- do you think her job is? ※疑問文 What is her job? に do you think が挿入された形。疑問文は間接疑問の平叙文の語順 what her job is になる。

解説 2

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 関係詞（関係代名詞・関係副詞）は、文を名詞節に変換するときに使われる記号と解釈できる。
 例えば、He has something in mind. 「彼は何かを考えている。」という文は、関係代名詞を使って、something (that [which]) he has in mind 「彼が考えている何か」という名詞節に変換できる。
 この節はまた、先行詞（上の例では something）を要さない関係代名詞 what を使って、what he has in mind 「彼が考えていること」という名詞節でも表現できる。
- この名詞節（関係詞節）を目的語に組み込んだ英文、例えば、
 I know what he has in mind. 「私は彼が考えていることを知っている。」を考えると、この目的語（what 節）は、疑問文 What does he have in mind? 「彼は何を考えているのか。」の間接疑問とも解釈できる（「私は彼が何を考えているのかを知っている。」と訳せるが、ほぼ同じ意味）。
- 【重要】結論としては、どちらで解釈してもよい。大切なのは、その節が名詞として機能し、どの文の要素（主語・目的語・補語）の役割を果たしているかを正しく理解することである。
 2つ例文を挙げる。間接疑問と関係副詞の視点で比較し、意味がほぼ同じことを確認してほしい。
- I don't know why he didn't come.
 「なぜ彼が来なかったのか（彼が来なかった理由）を、私は知らない。」
 ※ know の目的語となる名詞節(why 節)。関係副詞の場合、why 直前の先行詞 the reason の省略。
- How she was able to open the locked door is still unknown.
 「彼女がカギのかかったドアをどのように開けられたのか（～ドアの開け方）は、まだ不明だ。」
 ※ 主語となる名詞節 (how 節)。関係副詞の場合、How 直前の先行詞 the way の省略。
 （ただし、the way と how を一緒に使うことはない。How の代わりに The way とするのは可。）

B 演習 2：基本問題 和訳しなさい。

- This is what you've been looking for, isn't it?
「
」
- Does anyone know what the criminal looked like? (名詞 criminal 「犯人」)
「
」
- Can you tell me where you were last night?
「
」
- What he said in the meeting was meaningful. (形容詞 meaningful 「意味のある、重要な」)
「
」

演習 2：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 「これはあなたが探してきたものですね。」 ※ is 直後の主格補語は、先行詞を要さない関係代名詞 what による名詞節、あるいは疑問文 What have you been looking for? の間接疑問（名詞節）。
- 「犯人が誰に似ているか、誰か知っていますか。」
 ※ 動詞 know の目的語は、関係代名詞の what 節（名詞節）、あるいは疑問文 What did the criminal look like? の間接疑問（名詞節）。look like ～「～に似ている」。
- 「昨夜どこにいたのか私に言えますか。」 ※ 動詞 tell の直接目的語は、先行詞 the place が省略された関係副詞 where 節（名詞節）、あるいは疑問文 Where were you last night? の間接疑問（名詞節）。
- 「彼が会議で言ったことは重要だった。」 ※ 内容的には、この主語は間接疑問ではなく関係詞と考える方がわかりやすい。いずれにしても、〈疑問詞 + SV（平叙文の語順）〉で名詞節となりうることを理解することが大切。

年 組 番 氏名

実施日 年 月 日

A	/4
B	/4

検印